

広報

環境カウンセラーちば

第48号

特定非営利活動法人
環境カウンセラー
千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。
地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

第14回通常総会を開催

第12回通常総会が平成28年5月22日(日)に千葉市市民会館特別会議室において開催され、会員総数112名に対し105名の出席(うち、委任状提出55名)で、見並勝佳理事長が議長となり、次の議案を審議し、承認されました。会員の皆様のご協力に深く感謝いたします。

- (1) 第1号議案「平成27年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「平成27年度監査報告」
- (3) 第3号議案「平成28年度事業計画案ならびに予算案」

なお、今回は役員任期途中での総会ですので、役員改選は行われませんでした。

平成28年度運営方針

理事長 見並勝佳

(1) 組織運営

2年前からの課題である三課題のうち、「会員数の漸減」と「高齢化」はまだ未解決の難問です。「財政」は、やや改善の兆しと対応への基本的考えができてきたと言えます。その上で、「外部に開かれた活発な活動」に「楽しく行う」を付加したものを今期の活動の基本とします。

具体的には、会員の皆様が参加しやすい行事開催、会員の皆様が地元で行っている活動への支援、会員以外の方への行事参加の機会を増やすことを目指します。これらのことが会を活性化し、会員増に繋がると考えます。そのために、EC千葉の中だけの活動にとらわれることなく、国や県・市とその関連組織、環境カウンセラー全国連合会ECU・他県の環境カウンセラー団体、県内の環境団体、大学や高専等の教育機関との接触と連携の機会を拡大することにも注力したいと考えます。

「財政」については、皆様のご協力で繰越金額が320万円と2年間分の事業規模となりました。貯め込むことが目的ではないので、この資金で会の活性化をどうするかを検討する時期になったと考えます。2年後の平成30年(2018年)には設立20年となります。それに向けて、会を活性化する施策検討を開始し、また、会の発展と環境問題解決への貢献を考えると環境カウンセラー以外の方の入会者をどのようにして増やすかも検討すべき時期です。会員皆様の行事への積極的な参加とご意見や提案を期待しています。

(2) 事業推進

EMS支援センター活動は、EC千葉の最大業務であり、財政的にも非常に重要です。従来からのセミナー等の行事を着実に実施するとともに、EA21の普及拡大に我々のすべきことを確実に実施してゆくことが求められています。

環境学習センターは、環境教育等支援団体としての基盤の整備と組織力の充実・強化と会員の力量の充実・強化を念頭に、環境保全全般に関する情報収集と研修活動・自然観察会などを充実させてゆくことにします。「eco検定受検対策講座」の受講者拡大と講座の定着を図り、さらに、「うちエコ診断実施機関」の登録を進め、新たな活動への取り組みに挑戦することとします。

地球温暖化対策センターの活動では、従来からの袖ヶ浦市と白井市での太陽光発電関連活動を継続します。大多喜町での小型小水力発電支援活動は今年度の環境教育プログラム「わくわく探検隊～自然と仲よし～」という子供向けイベントへの展開となっています。

廃棄物対策センターは、これまで行ってきた「マイボトル普及活動」、「パートナーシップ」による地域の環境課題解決への取り組みなどを継続します。

水環境対策センターの活動においては、千葉県特有の課題である「浄化槽問題」への当協議会の貢献の評価は高く、今年度も県主催の浄化槽啓発講習会に講師を派遣し協力を継続します。県事業以外にも独自の講習会を開催し、浄化槽使用者へ働きかける活動も行いたいと考えています。浄化槽以外の水環境課題への取り組みとして、首都圏外郭放水路の見学会を企画しました。

生物多様性研究会は、緑のカーテンの種集めと配布、南房総エコネットとの協働事業をはじめとして、会員の行っている事業との連携などとの広がりを図っていきたいと考えます。

今年度も多様な事業が計画され・展開されますので、多くの会員の参画、支援が必須であります。会員の皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

平成27年度に実施した主な活動・事業

I.環境保全推進の知識向上のための環境セミナー、研修会 自然観察会、見学会などの開催	VI.まちづくりに関する諸調査、政策の提案																								
1.環境セミナー(5月17日、総会特別講演会) 「地球化学的手法による火山噴火予知の可能性」 2.施設見学会 1)「ソーラーシェアリングしろい富塚」(9月7日) 2) 醤油工場見学(8月4日、野田市) 3.秋季研修会(11月14日) 「地球温暖化問題の現実・真実を学ぶ」 4.自然観察会 1) 富士山南麓自然観察会(9月14～15日) 2) 白井市渡り鳥観察会(H28.2月21日)	1.地球温暖化対策活動 1) 学習会の開催、支援、協力(白井市民大学校等) 2) 再生可能エネルギー研究会(2回) 3) 家庭用太陽光発電導入結果調査への協力 (袖ヶ浦市、白井市) 4) 小水力発電の学習と調査(大多喜町水力発電所および 船橋市下水処理場実験施設を見学) 5)「ソーラーシェアリングしろい富塚」見学会 2.廃棄物対策活動 ・千葉県版一般廃棄物プラスチックリサイクルルート構築検討 ・目白大学環境ゼミとの協働 ・千葉市パートナーシップによる課題解決会議体への参加 3.水環境対策活動 1) 浄化槽啓発講習会へ講師派遣(白井市11月7日、 東金市11月14日、山武市H2および8年1月28日) 2) EC 千葉会員対象の浄化槽講習会の実施(8月4日) 3) 野田市醤油工場見学会(8月4日) 4. 生物多様性研究会 (事業部・環境学習センター・地球温暖化対策センターと連携) 1) 自然観察会(①富士山南麓、②白井市渡り鳥観察) 2)「コメッセちば」において「緑のカーテン用種子」を配布。																								
II.環境問題に関する諸調査、改善策の検討、政策の提案	VII.その他法人の目的を達成するための事業																								
1. 環境省「うちエコ診断」実施機関への認定申請 (H28年6月10日付けで認定される。)	1.広報活動 1)「広報」の発行[47号:H27.9.1発行] 2) ホームページの更新[随時] 3) メーリングリストの更新[随時] 2.対外活動 1) 環境カウンセラー全国連合会 ①理事の推薦、理事会等の事業活動への協力 ②環境カウンセラー研修の運営協力 2) 千葉商工会議所(講座・セミナーの共催) 3) EA21 地域事務局への協力 (事務局員の派遣、セミナー等の共催、EA21 普及協力) 3. 協議会の運営 1) 総会の開催 2) 理事会(毎月1回、計12回)																								
III.各地の環境イベントへの参加による環境保全の啓発	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">平成27年度収支実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(収入)</td> <td>1,980 (千円)</td> <td>(前期から繰越)</td> <td>2,988 (千円)</td> </tr> <tr> <td>(支出)</td> <td>1,690 (千円)</td> <td>(次期への繰越)</td> <td>3,278 (千円)</td> </tr> <tr> <th colspan="4">平成28年度収支予算</th> </tr> <tr> <td>(収入)</td> <td>2,935 (千円)</td> <td>(前期から繰越)</td> <td>3,278 (千円)</td> </tr> <tr> <td>(支出)</td> <td>2,839 (千円)</td> <td>(次期への繰越)</td> <td>3,374 (千円)</td> </tr> </tbody> </table>	平成27年度収支実績				(収入)	1,980 (千円)	(前期から繰越)	2,988 (千円)	(支出)	1,690 (千円)	(次期への繰越)	3,278 (千円)	平成28年度収支予算				(収入)	2,935 (千円)	(前期から繰越)	3,278 (千円)	(支出)	2,839 (千円)	(次期への繰越)	3,374 (千円)
平成27年度収支実績																									
(収入)	1,980 (千円)	(前期から繰越)	2,988 (千円)																						
(支出)	1,690 (千円)	(次期への繰越)	3,278 (千円)																						
平成28年度収支予算																									
(収入)	2,935 (千円)	(前期から繰越)	3,278 (千円)																						
(支出)	2,839 (千円)	(次期への繰越)	3,374 (千円)																						
1.«エコメッセ2015 in ちば」(9月23日、幕張メッセ) 2.各地の環境イベントに参加 1) 千葉市生涯学習センターパネル展示(3～4月) 2) 千葉市長沼コミュニティセンターパネル展示(4～5月) 3) 白井市「ふるさと祭り」(10月24,25日)等への協力 4) 船橋市「ふなばし市民活動フェア」(H28年1月) 5) 鎌ヶ谷市 ①環境パネル展(6月29日～7月14日) ②生涯学習推進センターポスター展示(12月)																									
IV.環境関連の講演会、研修会の講師派遣及び書籍出版																									
1.小・中・高校等の環境教育、環境学習への講師派遣 (市原市へ環境授業の提案) 2.環境学習の基盤整備及び相互研修 (定例会議の際に実施、7回) 3.外部との協業(家庭省エネ診断、白井市、H28年2月27日) 4.エコ検定受験対策講座の開催 (本試験に合わせ、6月と11月に開催)																									
V.行政機関、事業者などの環境関連事業に対する支援																									
1.ISO普及啓発活動 1) 企業環境セミナーの開催(10月23日) 2) 内部監査員養成講座の開催 (ISO9001を2回とISO14001を2回) 2.EA21の普及推進 1) EA21普及セミナーの開催(7月24日) 2) EA21地域セミナーの開催(八千代市、4月) 3) EA21 審査人力量向上研修会の開催(H28年1月30日) 3.EMS研修(EMS支援センター定例会の際に実施、12回)																									

浄化槽講習会が累計70回（50会場）に達します。

平成21年度に千葉県との協働事業としてはじめた「浄化槽講習会」（担当：水環境対策センター）が本年度で50会場・累計70回に達します。この講習会によって、約1,500名の県民の方々に浄化槽をお使いいただく上で注意すべきこと、定期的な点検・管理の大切さを学んでいただきました。

浄化槽は、し尿と併せて雑排水を処理し、下水道以外に放流するための設備であり、河川、湖沼、海域等の公共用水域の水質汚濁の防止に大きく寄与するものです。千葉県には平成26年度末で約58万基の浄化槽が設置されていますが、その内の約34万基（60%）は「し尿」だけを処理する「単独処理浄化槽」です。単独浄化槽では生活から出る汚れの70%を占める「し尿以外の生活雑排水」が未処理で公共水域に流れ出ますので、単独浄化槽から生活排水とし尿を合わせて処理をする「合併浄化槽」への切り替えを促進することが急務となっています。また、合併浄化槽を設置したお宅でも、水環境を守るには適正な使用と維持管理を行うことが重要です。

浄化槽の利用者は、浄化槽が正しく設置され、正常な機能を発揮しているかどうかを検査する「浄化槽の法定検査」を受けることが法律（浄化槽法）で義務づけられています。しかし、千葉県における法定検査受検率は極めて低く、特に、定期検査（「11条検査」）の受検率は全都道府県の下から第3位（平成26年度7.7%）と、大変に恥ずかしい実態で、この受検率を上げることが大きな課題です。

当水環境対策センターでは、千葉県水質保全課に協力して、県が行う浄化槽講習会に講師派遣し、浄化槽を使用されている方への啓発活動に取り組んでおります。

浄化槽講習会の実績

環境カウンセラー千葉県協議会 水環境対策センター

年度	主催	開催日	開催場所	参加者数	備考	
平成28年度 計画	千葉県水質保全課	平成28年11月13日	銚子市			
		平成28年11月26日	木更津市			
		平成29年1月	九十九里町		「美しい作田川を守る会」会員対象	
平成27年度	千葉県水質保全課 千葉県浄化槽団体連絡協議会	平成27年11月7日	白井市保健衛生センター3階	30		
		平成27年11月14日	東金市源公民館	20		
	野田市郷土博物館 EC千葉水環境対策センター	平成28年1月28日	山武市市役所3階大会議室	45	山武市主催、 「美しい作田川を守る会」会員向け	
		平成27年4月9日	野田市市民会館	13	第121回寺子屋講座	
平成26年度	千葉県水質保全課 千葉県浄化槽団体連絡協議会	平成27年8月7日	野田市さわやかワークのだ	22	野田市市民活動団体部EC千葉会員	
		平成26年11月15日	東金市豊成公民館	43		
		平成26年11月29日	野田市木野崎農業構造改革セン	39		
		平成27年1月28日	山武市市役所3階大会議室	57	「美しい作田川を守る会」会員向け	
平成25年度	千葉県水質保全課 千葉県浄化槽団体連絡協議会	平成25年9月19日	大多喜町中央公民館	17		
		平成25年11月9日	成田市下総公民館	33		
		平成25年11月16日	多古町コミュニティプラザ	25		
		平成25年11月30日	袖ヶ浦市市民会館	34		
		平成25年12月7日	市川市曾谷公民館	39		
平成24年度	千葉県水質保全課 千葉県浄化槽団体連絡協議会	平成24年9月29日	一宮市中央公民館	52		
		平成24年10月27日	富津市中央公民館	32		
		平成24年11月17日	南房総市千倉保健センター	31		
		平成24年12月1日	旭市いいおかユートピアセンター	33		
		平成24年12月8日	山武市市役所3階大会議室	51		
		千葉県職業能力開発短期大学 「公開講座2012 親子環境体験教室」	平成25年3月2日	千葉職業能力開発短期大	28	親子での参加（小・中学生とその親）、 団体・企業関係者、教育関係者
平成23年度	千葉県水質保全課 千葉県浄化槽団体連絡協議会	平成23年10月1日	我孫子市		浄化槽シンポジウムとして実施され、 EC千葉は第3回（10/29）、 第4回（11/12）の講師担当	
		平成23年10月15日	白井市			
		平成23年10月29日	鎌ヶ谷市東部学習センター	52		
		平成23年11月12日	鴨川市市民会館	33		
		平成23年11月26日	市原市			
(社)千葉県環境保全センター印旛支部	平成23年12月10日	八街市中央公民館	30	環境保全フォーラム(会員向け講習会)		
平成22年度	千葉県生活環境部水質保全課	平成22年11月6日	大網白里町中央公民館	22	講師派遣(業務委託)	
		平成22年11月7日	木更津市中央総合福祉会館	27	【どの日も午前・午後と2回の講座】	
		平成22年11月14日	市原市姉ヶ崎公民館	8		
		平成22年11月21日	銚子市勤労コミュニティセンター	10		
		平成22年11月28日	館山市コミュニティセンター	18		
		平成22年12月5日	旭市海上公民館	10		
		平成22年12月12日	香取市中央公民館	12		
		平成22年12月19日	山武市山武市役所会議室	19		
		平成23年1月16日	いすみ市岬公民館	17		
		平成23年1月30日	銚南町中央公民館	9		
		(社)千葉県環境保全センター	平成22年12月3日	千葉市オークラ千葉ホテル	32	環境保全センター役員向け
		(株)TOTO	平成22年9月11・12日	(株)TOTO佐倉工場		TOTOリモデルフェア工場見学者を対象
		平成21年度	千葉県生活環境部水質保全課	平成21年7月18日	船橋市東部公民館	23
平成21年7月25日	野田市さわやかワークのだ			21	【どの日も午前・午後と2回の講座】	
平成21年8月22日	香取市佐原中央公民館			30		
平成21年8月29日	市川市市川文化会館			40		
平成21年9月12日	旭市海上公民館			20		
平成21年9月26日	山武市成東文化会館のぎくプラザ			49		
平成21年10月17日	市原市市民会館			60		
平成21年10月24日	午前：茂原市豊田福祉センター 午後：茂原市五郷福祉センター			25		
平成21年11月7日	木更津市公民館			18		
平成21年11月21日	いすみ市岬公民館			19		
平成21年12月5日	南房総市千倉保健センター			38		
(社)千葉県環境保全センター印旛支部	平成21年1月16日			印旛合同庁舎	51	環境保全フォーラム(会員向け講習会)
南房総市	平成21年10月10日			南房総市千倉保健センター	68	南房総市環境大学講座
平成19年度	(社)千葉県環境保全センター			平成20年1月27日	印旛合同庁舎	50

富士山南麓自然観察会

平成27年9月14,15日

参加者 23名

富士山南麓の自然観察研修会

千葉市 浦部純子

世界遺産となった富士山、山頂は目指せなくとも近付きたいと、初めての参加です。台風の影響で荒れ模様だった前週でしたが、好天に恵まれて、期待が膨らみます。

まずは車中、環境学習副センター長渡辺忠明さんから資料を基に「世界遺産とは／富士山の歴史・文化／富士山の湧水」のお話を伺いました。

[9月14日]

柿田川湧水群

富士山裾野南東から西への湧水廻りで楽しみにしていたのはミシマバイカモ（三島梅花藻）…ありました！思っていたよりもずっと小さく白い可憐な花が、目を凝らすと流れに漂うようにあっちにもこっちにも顔を突き出していました。渡辺さんが訪れるたびに見ているというカワセミは、工事作業からの避難中なのか、残念ながら見られませんでした。

大瀬崎（おせざき）

沼津から駿河湾を南西へ回り込み、砂嘴（さし）という駿河湾に長く突き出した半島です。ダイビング用のボンベ等の並んだ民宿を過ぎると樹齢1,000年を超える巨木もある天然記念物のビャクシン（柏楨）樹林が群生しています。ビャクシンの若葉はトゲトゲで老木になると丸くなるとか。樹脂が多く枯れても朽ちずに、そのままどっしりと力強く立っている、何とも不思議なりっぱな姿です。栄養の乏しい土地に生育してきたビャクシンですが、幼木は育たず、ヤブニッケイやイヌマキに移行中とのことでした。

沼津魚港で昼食

沼津に戻り、待望の海鮮丼。新鮮で種類も多く満腹。駿河湾は日本一深い湾とのこと、深海魚もおすすめだそうです。さすが静岡、お茶の美味しいこと。

田子の浦みなと公園

駿河湾を西へ。北に富士山、南に海という小高い丘のある、1970年代のヘドロや土砂を利用して造成された公園です。清掃をされていたボランティア団体の方からヘドロ公害の状況をお訊きしました。当時の製紙工場は排水処理も行わず、周辺河川や田子の浦港にはヘドロが浮かび、悪臭が漂っていたそうです。今は広々とした公園に、8本の石柱に山部赤人の歌を万葉仮名で刻んだ歌碑もあります。

富士山本宮浅間大社

富士宮でにんにくの栽培をしている知人を思いながら趣のある街中を抜けて、徳川家康造営の広い境内へ。楼門の左右の隨身。浅間造りという本殿の栓皮茸の見とれるほどの美しさ！平成の名水百選の湧玉池は富士山の雪解け水が何層にもなった溶岩の間を通り湧き出した特別天然記念物で、透き通った水をもう少しゆっくりと眺めていたいと思いました。

休暇村富士（泊）

盛り沢山の1日目を終えて、離れのコテージへ。賑やかな懇親会でお腹も気持ちもいっぱい。

[9月15日]

翌朝は空が白んだ頃に本館のティーラウンジで富士山を眺めて、宿舎の方と日の出を待ちました。毎日富士山の写真をホームページにアップするそうで、いい写真が撮れそうなきときは走り回り忙しいとのこと。今年の8月のダイヤモンド富士は1日だけだったとか…6時半からの「朝のふれあいウォーキング」に参加、富士山の大沢崩れを見ながら田貫湖へ。農業用の人造湖で、こじんまりとした湖畔に沿って休暇村へ戻りました。

田貫湖ふれあい自然塾

環境共生型施設・ユニバーサルデザインの施設整備・体験プログラム等、ゆっくり滞在して楽しんでみたいところです。

猪之頭湧水群・陣馬の滝

源頼朝が陣を張ったことから呼ばれるようになったという丸く囲まれた包み込まれるような空間のかわいらしい滝です。

静岡県水産技術研究所富士養鱒場・ワサビ田

ツリフネソウに迎えられて、ニジマス等の養殖に関する調査・研究をしている場内へ。ここも豊富な湧水のお蔭の施設です。

養鱒場向かいの食堂でニジマスを堪能。ここのご主人の紹介で近所のワサビ田見学。

こちらの奥様の案内で説明を聞きながら、湧水が水路となって流れるワサビ田めぐりは、貴重な体験でした。ワサビをお土産にしました。

白糸の滝

何十年も前に、中学1年の旅行以来の対面でした。左に太い滝があり、その右には幾筋もの糸のように広がっています。途中の音止めの滝も豪快で、滝の姿も音もいいものです。滝見学の後はバスへ戻りながらソフトクリームを楽しみました。新富士火山はよく水を通し何層もの間を水が流れ、水を通さない古富士火山の上を地下水となって流れ、その境目から湧き出している、豊かな水の恵みに感じ入りました。

製紙工場も養鱒場もワサビ栽培も白糸の滝も湧玉池もみんな涌き水があればこそ、大事な富士山を見上げながら暮らしているのですね。

もう一度、水の流れ出る層を確認しながら富士山の麓を廻ってみたいものです。この発見いっぱいの旅に参加して楽しい時を過ごし、渡辺さんはじめEC千葉の皆さんに感謝申し上げます。

富士山南麓自然観察会

環境カウンセラー千葉協議会主催「富士山南麓自然観察会」に参加して

袖ヶ浦市 松永卓生

今回、(前)理事長の國廣さんのご紹介で本会に初参加しました。

私は地元袖ヶ浦では國廣さんのご指導のもと、環境問題等での活動には参加してきましたが、今回の自然観察会のような雄大な行事に事加するのは初めてです。

自然観察会とは私なりの解釈で現地を、訪ね、見て、知る、事だと思えます。本会に参加された素晴らしい仲間としてご指導頂いた先生からは、素人の私にも判り良い説明で、しかもアカデミックであり、楽しく勉強出来ました。また、人生の生き甲斐が甦る感覚で貴重な体験実習となりました。

特に印象に残ったのは、富士山麓の恵まれた台地と自然湧水群のもたらす景観美、その豊富な湧水を利用して行う鱒の養殖場とわさび田を見学出来て良かったと思えます。

本当に今回の経験で実際に訪ね、見て、知る事が出来て感動し楽しかったです。今後もまた、本会がこの様な素晴らしい自然観察会等を計画されん事を期待します。どうもありがとうございました。

(以上)

富士山南麓自然観察紀行

習志野市 松島 由季

鬼怒川・小貝川を決壊し、氾濫させ、栃木・群馬・茨城県をはじめ関東圏を中心に猛威をふるった台風も去り、雲一つない快晴に恵まれた9月14日・15日の2日間、EC千葉主催の富士山南麓自然観察会に参加させて頂きました。世界文化遺産に登録され、益々、世界の注目を浴びる富士山である。

昨年の富士山北麓自然観察会に引き続き、富士山を南北、両面から臨めた事になる。なんとラッキーな事か。

1日目:

14日朝、3箇所の集合場所から参加者23名を乗せたバスは渋滞もなく東名高速をひた走り、最初の視察コースの柿田川湧水群へ。私個人として昨年、初夏に訪れたが何度来ても飽き足りない。規模は小さいながらも富士山に降った雨が数百年をかけコンコンと湧き出す湧水の色は、なんとも言えぬ美しさを放つ。清流な水でしか生育しない梅花藻が可憐な白い花を水中で、咲かせている事でもわかる。しかしその昔、高度成長期時代には企業発展に伴う苛酷な歴史を持ち、近年に入り保全活動により、今の様な自然環境が保全されている事を車内での講師方達の説明を聞き、改めて負の遺産にならず後世までこの環境が保たれる事を願ってやまない。

その後バスは大瀬崎へ向かい、半島の様に突き出た海岸線に群生するビャクシン(白槇)樹林を観察した。大瀬崎は大瀬神社の境内にもなっている。昼食はさすが漁港の町。新鮮な魚介類の海鮮丼を堪能した。

お腹も一杯になったところで一行は田子ノ浦公園へ。戦後、負の産物として名高い公害に名が挙がり、また、万葉集にも載る程、かつては絶景だったであろう「田子ノ浦」。現在は、負の遺産、廃棄物を土壌に埋め小高い見晴らし台になっており、山部赤人の句碑が建っている。海は青く静かで遠くに数本の煙突からたな引く煙の奥に富士山が聳えるだけである。

次は、富士山本宮浅間大社に参拝し境内散策をした。富士の湧水・湧玉池は禊の池として神事に仕える者や登山者が身を浄めたり潔斎する池である。池には小さい魚やカモ達が生息していた。引いたおみくじは……。

宿泊は、田貫湖畔の休暇村コテージに5~6名ずつ分散した。食事と入浴が少し離れたホテルなため、薄暗い夜道を女性だけで歩くのはなんともホラー、肝試しである。食事は個室なので、山海の幸で賑やかな親睦会と相成った。食後は一棟に集りビデオ上映会。ECの10年間の歴史を鑑賞する。皆勤賞は中川文子さんただ一人! おめでとございます!

2日目:

朝、目覚めるとそこには太陽を背にした富士山が朝のご挨拶。ベランダから真正面に悠然と佇む富士山は、なんと美しく雄大なことか。感動のひと時である。

朝食後、田貫湖ふれあい自然塾見学で、初めてハンモックを体験した。それから陣馬の滝見学後、静岡県、水産試験場富士養鱒場ではニジマスの養殖を見学。オレンジ色に輝くアルビノ種は錦鯉と見紛う程、鮮やかで美しい。ニジマスの体色変異種でメラニン色素が無いため、黄体色、赤目をしている。これは、ウサギやマウスにも見られる。ニジマス達にエサをやりながら子供の様に戯れ楽しんだ。その養鱒場のすぐ隣で、ニジマス料理を戴く。一見、鮭?と見えたが歯応えが異なる。料理店の御主人と女将さんの御厚意で田丸屋ワサビ園に案内して頂いた。

ワサビ園のおねえさんの解りやすい説明を聞きながら和やかに見学した。無農薬の故にモンシロチョウがそこかしこに沢山飛び交っている。理想の姿だ。素晴らしいサプライズイベントに皆感動していた。

最後に訪れたのは白糸の滝である。数百年前に富士山に降った雨水が幾筋もの滝になり落下して行く。「白糸の滝」と命名されるものは軽井沢のを始め、国内に何ヶ所かあるがここ富士の白糸の滝が元祖である……とのことである。

世界遺産登録された富士山と数多くの自然と歴史に触れ、山海の幸を戴き参加者の方達と楽しく和やかに、共に学べたこの2日間はととても素晴らしい有意義で貴重な経験であり、心から満喫する事が出来た。

EC千葉の皆様のご尽力と参加された皆様方に心より感謝しております。

また来年の日本環境探訪…? を楽しみにしております。有難うございました。

(以上)

オオハクチョウ等渡り鳥観察会

日時：2016年2月21日

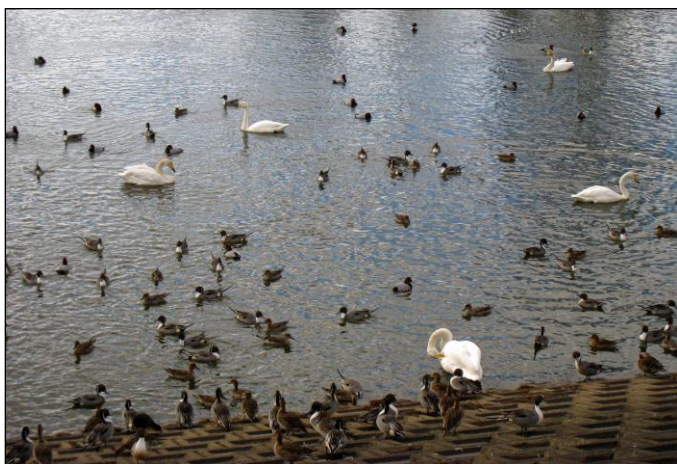
場所：白井市七次川防災調整池
(通称 清水口調整池)

参加者：11名(小学生1名)

EC千葉として今年度初めて身近な自然の観察会として、オオハクチョウ(渡来南限)、カモ類の冬の渡り鳥を対象に行った。

優美なオオハクチョウ、愛らしいカモ類の群泳を楽しみながら、鳥類の見分け方に始まり、渡りの仕組み、人口衛星の位置、情報使用のものも含めた渡りの調査法、寄稿変動の熱帯林減少の渡りへの影響と地球規模の保全ネットワークの重要性について学ぶ会であった。

(環境学習センター副センター長 渡辺忠明)



富士山南麓自然観察会 (写真)



2015年9月15日 白糸の滝

[当日の説明資料から抜粋]

冬鳥：ハクチョウ、ガン、カモ類は、秋に日本に渡って来て越冬し、春に渡去し大陸等で繁殖する。繁殖地シベリアでは、冬には雪氷に閉ざされ食物が得られず、秋に日本へ飛来するが、春になって戻ると越冬地日本に残るより個体あたりより多くの食物確保が可能となる。(繁殖時期には子供を育てるのに豊富な食料が必要)

越冬地の熱帯雨林の伐採や中継地の改変などの地球環境変化の影響を受け、日本のみならず世界各地で渡り鳥は減少し、危機に瀕している。

また、気候変動の影響を受け、例えばハクチョウ、ガン、カモ類は、1990年前後には必ず本州まで南下して越冬していたが、近年は北海道で越冬している。渡来時期も変化してきて、カッコウ、ホトトギスが毎年5月中旬に渡来していたのが1998年には6月上中旬になった。繁殖期にもずれがみられ、コムクドリの産卵開始時期が20年で2週間早くなった。(1978年5月25日→1998年5月10日)

<2015 秋季研修会>

平成27年11月14日

「海洋の変化と気象・暮らしへの影響」

講師：東京管区気象台気象防災部

海洋情報調整官 片山 恭男

地球温暖化に伴い、海水温の上昇・海面水位の上昇・海洋の酸性化・海氷の変化などが進んでいる。

海水温の上昇は、異常気象・極端気象の原因となり、しかも、今後長年にわたり強まることがあっても解消することはない。

パリ協定で国際約束した温室効果ガスの削減目標(2013年比で、2030年に26%減、2050年に80%減)を達成するために、政府は「地球温暖化対策実行計画」を策定し、これを受けて各自治体がそれぞれの実行計画を現在策定中である。今こそ、国民1人ひとり、事業者、NPO等の各主体は、行政任せで傍観してだけでなく、真に実効ある温暖化対策に自ら主体となって取り組むことが求められる。

(服部達雄 記)

[講師からの資料紹介]

「気象庁「海洋の健康診断表」

講座開催報告

内部監査員養成講座 (ISO 9001、ISO 14001)

ISO 9001 内部監査員養成講座は 2007 年から毎年 2 回、ISO 14001 内部監査員養成講座は 2005 年から毎年 2 回の開催を継続している。

主催者は千葉商工会議所と当協議会で、EC 千葉・EMS 支援センターに所属し、組織内でのマネジメントシステムの維持管理、第三者審査や内部監査員養成に経験豊かなベテランが講師を務めている。

2015 年度の実績は以下のとおりである。

1. 6月18・19日(木・金)：第18回 ISO9001 講座
受講者 13 人、講師 矢野 和敏氏、志澤 達司氏
2. 7月13・14日(月・火)：第22回 ISO14001 講座
受講者 23 人、講師 長田 彰氏、橋本 正氏
3. 9月17・18日(木・金)：第19回 ISO9001 講座
受講者 9 人、講師 荒野 喆也氏、志澤 達司氏
4. 10月8・9日(木・金)：第23回 ISO14001 講座
受講者 8 人、講師 青木 誠氏、西田 啓作氏
(会場：千葉商工会議所 第2ホール、または研修室A)

この講座は、定員 24 人の 2 日間コースを基本としており、ISO への取り組みの意義と効果、ISO 規格の内容、内部監査の進め方、内部監査員に求められる資質および力量などの講義に加え、内部監査のワークショップによって実務体験を行うという実践的な講座になっている。

受講者は、主に千葉県内の ISO 認証登録組織に所属している方が中心で、内部監査員候補者ばかりでなく、さらなる力量向上をめざす内部監査員、環境管理責任者、事務局の方などと幅広く、また、繰り返し参加される組織も多い。講座終了後の理解度試験に合格した方には修了証を発行している。

なお、上記の集合講座の他に、ご希望の事業者様への出張講座も実施しております。ご検討ください。

本講座への問合せは、090-7256-2405(宮田)、
または、tm.2and6.miyata@nifty.com
までお願いいたします。



2015年10月8・9日
ISO 14001 内部監査員養成講座

セミナー開催報告

第18回 企業環境セミナー (ISO 14001)

企業環境セミナーは、NPO 法人カウンセラー千葉県協議会 (EC 千葉) が発足した 1998 年 10 月 2 日 (金) に第 1 回目開催して以来、ISO14001 の普及と情報提供を目的として、毎年 10 月に欠かさずことなく続けている。

2015 年は、10 月 23 日 (金) に、千葉県などの後援をいただいて、千葉商工会議所と共催で千葉商工会議所 14 階第 1 ホールにおいて開催した。参加者は、千葉大学学生 3 名を含め、前年比 5 名増の 73 名であった。

第 1 部の講演では、長田彰 EC 千葉 EMS 支援センター幹事が「ISO14001 改正動向と対応」、志澤達司 EMS 支援センター幹事が「ISO9001 改正動向」と題して、ISO14001 及び ISO9001 の 2015 年改正での主な変更点、要求事項のポイント、改正を受けて取り組むべきこと等について講演した。

第 2 部の事例紹介では、(1) ガラスリソーシング株式会社 (銚子市、リサイクル業) 高沢敦志営業部長による「先人の知恵から学ぶリサイクル業」の講演、(2) 株式会社太陽堂印刷所 (千葉市緑区、印刷業) ビジネスフォーム課柴田秀哉副課長、オフセット課井上勝副課長による「印刷産業の環境への取り組み」と「グリーンプリンティング認定制度」の講演をしていただき、自社の取組だけでなく、業界としての取組についてもお話していただいた。

最後の質疑応答でも予定の 30 分間の時間いっぱい のやり取りが行われ、有意義なセミナーとなった。

2016 年は、10 月 28 日 (金) 午後、2015 年と同じ会場で開催します。実施計画が確定次第ご案内させていただきます。多くの方々のご出席をお待ちしております。
(EMS 支援センター長 宮田 勉)

第18回企業環境セミナー

＜環境マネジメントシステム規格の改正動向 及び 効果的な活用＞

開催日時 平成27年10月23日(金)
13:00～17:00 (開場:12:30)

会場 千葉商工会議所 14階第1ホール
参加費 1,000 円 (当日、受付にてお支払下さい) 定員 90 名 (先着順)

経営環境には次第に明るさが増してきているようです。一方、地球環境問題、とりわけ異常気象問題 (地球温暖化問題) は厳しさを増しており、世界中の人々が今まさに自分の問題として取り組むことを求められています。環境マネジメントシステム (EMS) に取組む企業にとっては、一層効果的な活動を求められていると言えるでしょう。今回は、今年予定されている ISO14001 の改正動向を講演で取り上げ、併せて EMS を運用されている多くの企業が「関心をお持ちの ISO9001 の改正動向についても参考情報を提供します。また、2つの組織から EMS 取組み成果の事例を紹介します。

プログラム	
開会挨拶	(13:00～13:10)
第1部 講演	
(1) ISO14001 の改正動向と対応	(13:10～14:10)
長田 彰(ながた あきら)氏 (NPO 法人 環境カウンセラー千葉県協議会 幹事、EMS 主任審査員)	
(2) ISO9001 の改正動向	(14:10～14:50)
志澤 達司(しざわ たつじ)氏 (NPO 法人 環境カウンセラー千葉県協議会 理事、EMS 及び QMS 審査員補、技術士(経営工学部門))	
— 休憩 —	(14:50～15:10)
第2部 事例紹介	
(1) ガラスリソーシング株式会社 (廃棄物中間処理業)	(15:10～15:50)
「先人の知恵から学ぶリサイクル事業」	
高沢 敦志 (たかさわ あつし)氏 (営業部長)	
(2) 株式会社太陽堂印刷所 (印刷業)	(15:50～16:30)
「印刷産業の環境への取り組み」	
柴田 秀哉 (しばた ひでや)氏 (ビジネスフォーム課 副課長)	
井上 勝 (いのうえ まさる)氏 (オフセット課 副課長)	
質疑応答	(16:30～17:00)

新入会員紹介

鈴木 敏樹 (すずき としき) 千葉市

日立製作所へ入社以来、分社化そしてS社・T社との液晶部門のM&Aと会社名が変わっても、定年前の10数年間は環境部門でほぼ同じメンバと過ごすことができました。私は、主にISO14001をツールとした海外拠点を含め経営に役立つ環境推進活動を目指してきました。この経験を活かし、EC千葉を通じて、少しでも経営に役立つ環境管理システム構築の支援をしていきたいと思っております。

伊澤 哲夫 (いざわ てつお) 船橋市

1月に入会しました。水処理装置メーカー・産業廃棄物中間処理業での23年、ODA海外環境コンサルタントとして21年に亘る主に水環境管理、廃棄物管理プロジェクトに携わってきました。7月に一応リタイアしました。今後は、より広い環境コンサルとしてエネルギー問題や生態系を含んだより広い環境の知識を深めていきたいと存じております。よろしくお願ひいたします。

熊田 成人 (くまだ しげと) 千葉市

2月にお仲間に加えて頂きました。現役時代は主としてクリーンルーム内の異物低減対策、併せて製造工程内の5Sやムダ取り、小集団活動、及びISO 9001の導入によるQMSの構築・維持・活用を推進して来ました。EC千葉に参加させて頂き、先ずは大きく変更になったISO 9001:2015に関する活動から始めたいと考えております。その後順次、幅を広げますので、ご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

草野 信 (くさの しん) 柏市

昨年6月に、10年間の東北地方単身生活を解消し戻ってまいりました。現在も東京の会社に再就職しておりますが、本年3月に入会いたしました。2004年に事業者部門で登録し、秋田環境カウンセラー協会、福島環境カウンセラー協会等の会員として、地域の活動のお手伝いをしてきました。専門は造園職であります。会社のCSRと環境カウンセラーのコラボを推進してきました。今後ともよろしくお願ひ致します。

ECU便り (ECU : NPO 環境カウンセラー全国連合会)

2016年6月24日にECU通常総会開催され、EC千葉から國廣隆紀氏、有馬富穂氏、笹木勝利氏が次期ECU理事に選任され、種本利治氏 (EC千葉理事) が環境保全功労者としてECU理事長から表彰されました。

表彰を受けられた種本さんからのメッセージがEC千葉ホームページに載せてあります。ご覧ください。

総務部からのお知らせ

2015年8月3日～2016年7月31日の間に、次の方々から当協議会へご寄付いただきました。ありがとうございました。

有馬 富穂 様	40,000 円、	上口 清彦 様	6,000 円、	國廣 隆紀 様	20,000 円、
久保田 隆 様	4,000 円、	小関 光二 様	2,000 円、	佐藤 ミヤ子 様	2,000 円、
種本 利治 様	2,000 円、	戸村 泰 様	66,500 円、	長田 彰 様	4,500 円、
橋本 正 様	45,000 円、	濱中 道人 様	10,000 円、	見並 勝佳 様	8,040 円、
宮田 勉 様	70,000 円、	吉田 昌弘 様	8,000 円、		

広報 環境カウンセラーちば 第48号 (発行日 2016年8月20日)

発行：特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (責任者：広報部長 服部達雄)

事務局：〒262-0019 千葉市花見川区朝日ヶ丘524-7

(Tel & Fax) 043-276-7300 (E-mail) ec_chiba_exec@yahoo.co.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)